

私たちの道

MCWAYを感じる

変化に対応すること

1. 前職での経験

- ・前職の企業文化は、とにかく前例に倣って上司のやり方・指導にいかに従うか。
- ・会社の言・行と顧客から求められていることの不一致。
→①会社の事業方針 / 経営戦略 (言)、②会社でできること (行)、③顧客から求められていること、の3つが大きく乖離。
- ・変化に対応しない環境を経験。世の中に提供できることや自身の領域が狭まっている苦しさを痛感。

2. 変わることは避けられない

- ・入社以来往訪した顧客はどの会社も将来について真剣に考え、変わろうとしている。
- ・今のコロナ禍にあるよう、予測不可能な出来事がいつ起こるかはわからない。
- ・それ以外にも世界的な社会問題の複雑化・多様化など、今までの常識が通用しない世の中。
- ・しかし、変化が起きてしまったら論理や理屈ではなく、否が応でも目の前の変化・出来事に対応しなくてはいけない。(対応できないと淘汰される)
- ・何が起きるか予測は不可能。予測するより、何が起きても対応するという気概・心構え・準備をして日々を過ごす重要性。

3. 変わるために必要だと思ふこと

- ・客観的な事実認識
→正しい情報に触れ、またその情報を正しく判断するための知識・教養・リテラシーなどがあることが大前提。
- ・謙虚な自己分析
→過去の成功体験や思い込みに囚われず、自分の能力・知識を過信しないこと。またその気づきを与えてくれる環境。
- ・前向きな危機感
→変わらなければ衰退していくが、今の世の中は予測も困難。であれば悲観的に構えるより、心の奥底には「どうせ予測してもその通りにはならない」くらいの楽観も持ったうえでの危機感を持つこと。